

# 審査結果報告書

平成 30 年 1 月 31 日

主 査 氏 名 市川 尊文 

副 査 氏 名 宮下 俊之 

副 査 氏 名 小幡 文弥 

副 査 氏 名 馬鳴 正隆 

1. 申請者氏名 : DM13030 福田 令

2. 論文テーマ :  
遺伝学的検査の市場化がもたらす課題と適切な社会実装へ向けた国際比較研究

3. 論文審査結果 :

遺伝子と表現型の関係に関する知見の集積や遺伝子解析コストの低減などに伴い、ヒト遺伝子の解析を利用した事業が広く実施されるようになり、近年では複数の遺伝子多型等を分析し、疾病罹患リスクを判定する消費者向け遺伝子解析サービス等の提供が国際的に普及しつつある。このような遺伝学的検査の市場化が倫理的社会的な問題を引き起こす危険性があることは容易に想像できるが、本邦においてはその議論が十分であるとは言えない状況にある。申請者は、この問題について、諸外国における遺伝子検査ビジネスについての規制適用の状況等を詳細に調査し、今後日本でどのような規制対応が必要かを検討し論文としてまとめた。

欧米の最近の動向では、検査技術の向上に対応するためには既存の規制の枠組みでは限界があることが示され、新たな規制対応への取り組みが進められていることが明らかとなった。また、アカデミアが見解を発表し、国や地域レベルでの規制や検討等も進められていることが判明した。

本研究は、今後日本において遺伝子検査ビジネスが適正に運用されていくために、検査の質と消費（利用）者保護を担保する制度整備や遺伝カウンセリングへのアクセスの確保が必要不可欠であることを明らかにし、国としての検討が必要な重要課題を抽出した点でたいへん有意義であり、学位論文として提出するにふさわしいものと判断した。